

## 「世界人権宣言」 12月号 ～「こころの扉」を少し開いてみませんか～

カレンダーを見ると「今日は何の日?」というくらい「〇〇の日」「〇〇記念日」とついた日がたくさんあります。では「12月10日は何の日でしょう」と尋ねられて、即答できる人はどのくらいいるでしょうか。

1948年12月10日、人権を守ることは世界平和にもつながるという考えから、国連総会ですべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として、世界人権宣言が採択されました。2年後、国連はこの日を世界人権デーと定めました。日本では、宣言が採択された翌年に、毎年12月10日を最終日とする1週間（4日～10日）を人権週間と決めました。

世界人権宣言は、基本的人権の原則が定められており、世界各国の憲法や法律にも取り入れられて

います。また、人権宣言をもとに人種差別撤廃条約や女子差別撤廃条約、児童の権利条約など、多くの人権条約が制定されています。

21世紀は、人権の世紀と言われるのですが、20世紀には2つの世界大戦をはじめとして、戦争や紛争が世界各地で多発し、多くの人命が失われ、人権が踏みにじられるような出来事も多く発生しました。この言葉には、こうした悲劇を二度と繰り返してはならないという20世紀への反省が込められています。しかし、現在でも地域紛争や軍事侵攻は続き、さらに環境破壊など、人々の安心や安全を脅かす新たな問題も現れ、人権尊重の重要性は高まってきています。

人権は、私たちの日常生活の中で生命や自由、平等を保障し、安心・安全を支えている大切な権利です。

人権週間をきっかけに、人権意識を高め、人権への理解を深めるため自分や周りの人権についてもう一度考えてみましょう。

